

◆税はどのようなことに使われているのだろう？

社会保障

社会保障関係費は、国の歳出の中でも33.2%という大きなウエイトを占めています。また、山梨県でも民生費・衛生費が歳出の15.6%を占めています。

これは、真に豊かな社会をつくるためには、私たちの健康や生活を守る社会保障制度を充実させることが欠かせないと考えられているからです。



(高度医療機器)

社会保障制度

「社会保障制度」とは国民の安心や生活の安定を支えるセーフティネットのことで、社会保険、社会福祉、公的扶助、公衆衛生の4つから成り立ち、わたしたちの生活を生涯にわたって支えるものです。

- 社会保険(年金・医療・介護)とは…国民が病気やけが、失業、加齢などにより生活が困難になった場合に一定の給付を行って、その生活の安定を図ることを目的とした保険制度
- 社会福祉とは…障がいのある人々や高齢者、子どもなど社会生活をする上で支援を必要とする人が安心して社会生活を営めるよう公的な支援を行う制度
- 公的扶助とは…生活に困窮している人に対して、最低限の生活を保障し、自立を助けようとする制度
- 公衆衛生とは…国民が健康に生活できるよう様々なことについての予防、衛生の制度

教育・科学振興

国や山梨県・市町村は、中学生一人につき約142万円を教育費として支出しています。(令和4年度)

誰もがよりよい教育を受けられるように、教科書の無償配布や一人一台端末などを行っています。また、宇宙開発、海洋開発、コンピュータなどの情報通信の研究開発の推進にも使われています。

国では、教育・科学振興のために5兆6,560億円、歳出の4.9%を占める多額の予算を見積もっています。山梨県でも、学校教育の費用などに926億円、歳出の18.1%を占めるほどの大きな予算を見積もっています。



(県図書館)



(宇宙開発)

【提供：JAXA / NASA】

学校教育にはいくら使われているのかな？

山梨県内の公立学校の児童・生徒一人当たり(1年間)

- 小学生 約125万8,000円
- 中学生 約142万3,000円
- 高校生(全日制) 約129万1,000円

(注) 令和5年度の地方教育行政調査報告書
(令和4会計年度調査：山梨県教育委員会)

義務教育期間の9年間と高校3年間が
全て公立学校の場合

- ・小学校 125万8,000円×6年間
= 754万8,000円
- ・中学校 142万3,000円×3年間
= 426万9,000円
- ・高校 129万1,000円×3年間
= 387万3,000円

合計12年間で、一人当たり約1,569万円の税金が使われています。

公共事業

豊かな生活環境をつくるための公共事業関係費・土木費について、国は6兆858億円、歳出の5.3%、山梨県は683億円、歳出の13.3%の予算を見積もっています。

現代の交通社会を支える上で重要な役割を果たしている道路をはじめ、上下水道、公園などの整備、維持管理をすることは、住みよい環境を実現するための大切な事業です。



(新山梨環状道路)



(公園)

山梨県民一人当たりにはいくら使われているのかな？

一般会計歳出予算5,115億円を県民一人当たりには
めると約65万円になります。

山梨県の人口：784,497人(令和7年4月1日推計人口)

()に数字を入れてみよう！

- ①3万1千 ④8万9千
- ②8万6千 ⑤10万2千
- ③8万7千 ⑥11万8千

教育費
教育施設の整備
充実などのため
約()円

公債費
県債の返済やそ
の利子の支払い
のため
約()円

民生費・衛生費
高齢者の支援や
健康の増進など
のため
約()円

土木費
道路や橋などの
整備のため
約()円

商工費・労働費
商業、工業の振
興や労働の安定
のため
約()円

警察費
安全な暮らしを
守るため
約()円



(警察)



(消防)



(ゴミの収集)

自分の住んでいる市町村の歳入・歳出をホームページで調べてみよう。



答え：教育費→⑥、公債費→④、民生費・衛生費→⑤、土木費→③、商工費・労働費→②、警察費→①